

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：八幡市

プロジェクト名	豊かな自然を守り、循環型の社会を目指すまちづくりプロジェクト		実施期間	平成24年度	テーマ	環境保全 土地利用	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・本年は環境自治体宣言10周年になり、市民へ循環型の社会を目指す啓発をする必要がある。 ・循環型社会づくりとして、自然エネルギー利用の太陽光発電システムの整備が考えられるが、住宅に設置するには、費用面で負担が重く、導入が進まない状況である。 ・ごみ収集の市民サービス充実を図るため、環境に配慮したじんかい収集車の更新が必要である。 							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民による環境に配慮した活動ができるようにする。 ・自然エネルギー利用の太陽光発電システム設置、助成により、循環型社会づくりの推進と環境に対する市民意識の向上を目指す。 ・じんかい収集車の更新により、効率的なごみ収集を図るとともに、低燃費車の導入により環境に配慮する。 							
	総事業費（千円）	46,301	本年度事業費（千円）	46,301	交付金額（千円）	2,074		
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	じんかい収集車整備事業	交付対象事業	環境に配慮したじんかい収集車3台を購入			3台購入		
	道路整備・美化環境管理公用車購入事業	交付対象事業	道路パトロール車1台。美化推進業務業務用トラック1台購入。			パトロール車1台、トラック1台購入。		
住民 協働 事業	環境自治体10周年記念事業	交付対象事業	市民と協働して環境保全活動の啓発イベント（スマートエコ祭）の実施。電気自動車購入。			24年11月3日市民文化祭と同会場で、グリーンカーテン写真コンテストや環境クイズを実施。またゴーヤの佃煮や啓発物品を配布。 参加者 800人 電気自動車購入 1台		
	住宅用太陽光発電システム設置費助成事業	交付対象事業	住宅用太陽光発電システムを設置する市民に100千円を限度に助成			24年度助成件数 151件		
	地産地消推進事業	交付対象事業	八幡産の農産物であることを出荷袋等に表記しPRする。八幡産のこだわり米に対し助成等。			八幡産ブランド野菜PR 出荷数 533,000袋 安全・安心でおいしいお米 出荷数 2,040袋		
成果 指標	成果指標の目標数値	住宅用太陽光発電システム設置数（市補助分） 平成23年度末 200件 → 24年度末 325件		成果指標の実績値 （24年度末時点）		351件		
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	環境問題に対する意識は年々高まりつつあるが、東日本大震災を契機に電気代の高騰もあり、自然エネルギー利用の考え方が浸透してきている。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）			（時期）		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：八幡市

本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果 ※未達成の場合も効果 を記載すること	スマートエコ祭の啓発活動等により、住民の環境問題に対する意識は高まり、住宅用太陽光発電システム設置件数の目標件数超えに寄与した。	
	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。	
本プロジェクトに 対する自己評価	府と市町村等との連携に資する成果	京都府が推進する再生可能エネルギー活用の取り組み及び温室効果ガスの削減に寄与することができた。
	住民の自治意識を高める成果	東日本大震災を契機に自然エネルギー利用の考え方が浸透してきている。
	広域的波及成果	電気自動車の新規導入は、環境問題への啓発となり、また災害時の非常用電源供給となる。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。